

祝認証!

『かわら版』
第13回

「セーフコミュニティ」ってなんだろう!?

「セーフコミュニティ」について詳しく知りたい方は、市HPをご覧ください♪



「セーフコミュニティ」は、みんなの身近に起こっている**事故やけがを予防する取組み**のことです。
 「事故やけがは偶然に起こるのではなく、原因を調べ対策を行うことにより、予防できる!」という考えのもと、
みんなが一緒になって、安心安全なまちづくりを進めていくことが大切です。

7分野の取組⑥「防災・災害対策」

防災・災害対策



目標 桜島地区における避難体制の再構築
取組 住民の避難状況の把握
 避難行動要支援者の避難体制確立
 避難訓練の充実強化

～避難訓練の充実強化～

初めての
夜間訓練実施

桜島火山爆発総合防災訓練
(島内避難訓練)
(平成28年11月18日実施)

平成27年の噴火警戒レベル4引き上げ時に、実際に避難した有村地区、古里東地区及び塩屋ヶ元地区を対象に、夜間に避難する訓練を実施しました。



避難バスの状況 (古里東)



道路の不通を想定した海上輸送訓練

桜島火山爆発総合防災訓練
(島外避難訓練)
(平成29年1月12日実施)

いずれも初の試み!
 主な訓練として、
 ①バスを使用した住民避難誘導訓練
 ②残留者捜索・輸送訓練、現地本部撤収訓練
 ③住民主体による避難所設置・運営訓練を行いました。

【テーマ】
1人の逃げ遅れも出さないために
 【サブテーマ】
新たな避難体制の構築に向けて



黒神中学校の避難状況



住民主体による避難所運営

今後の訓練の方向性

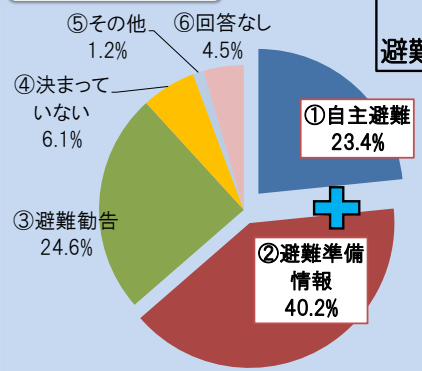
今回の反省を踏まえて

1. バス避難の有効性が確認できたので、海上避難と陸上避難を組み合わせた訓練を実施。
2. 住民主体による避難所運営訓練の有効性が確認できたので、全島へ展開。
3. 残留者捜索等実地での訓練の有効性が確認できたので、実地での機会を拡大。

～住民の避難状況の把握～
(桜島全島避難に関する調査)

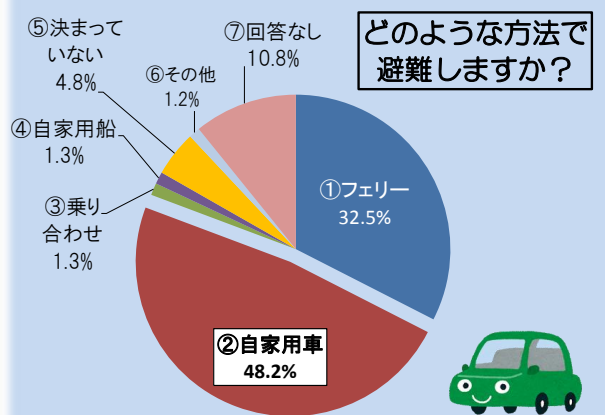
(1) 趣旨
平成27年8月の噴火警戒レベル4への防災対応を踏まえる中で、緊急連絡先の把握、複合災害時の避難手段の確保などの課題があったため、桜島の全島民を対象に実施。
 (2) 調査時期 平成28年7月～8月
 (3) 回収率 92.1%
 ※調査結果をもとに、住民一覧表(災害用名簿)を作成しました。

調査結果



いつ避難しますか?

約6割の方が、避難勧告発令前に避難すると答えました。



どのような方法で避難しますか?

およそ半分の人が自家用車での避難を希望しています。

～今後の取組～

- ① 鹿児島市地域防災計画「火山災害対策編」を強化していきます!
- ② 桜島火山爆発総合防災訓練の充実に取り組みます!



鹿児島市では、WHO(世界保健機関)が推奨するセーフコミュニティに取り組み、**28年1月29日に国際認証を取得**しました。

鹿児島市 市民局 危機管理部 安心安全課 セーフコミュニティ推進係(市役所東別館2階)
 TEL: 099-216-1512 FAX: 099-226-0748